



真宗大谷派 存明寺通信

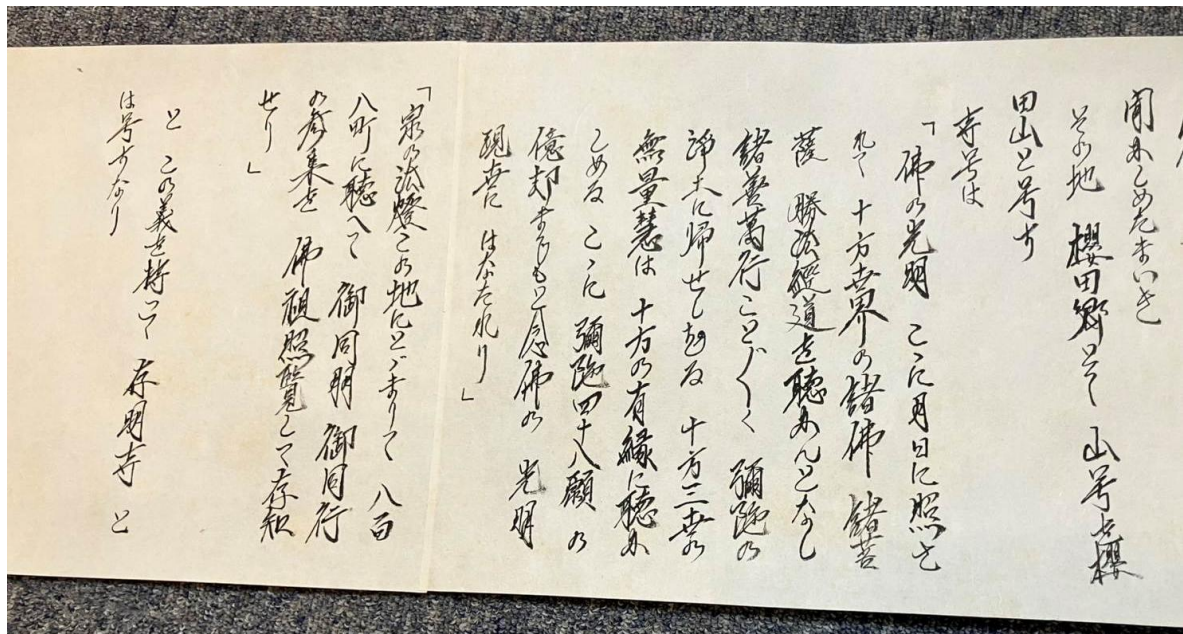
No.228

2025年(仏歴2556年)11月2日

2026年(令和8年)11月2日(月)14時～・3日(火)12時～

存明寺慶讃法要 (宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年) を厳修

講師: 一楽 真先生(大谷大学長)・ヒナタカコさん(シンガーソングライター・僧侶)



「先祖の願いに触れる」

【存明寺の名前の由来が書かれた文章】

「佛の光明」ここに月日に照されて
十方世界の諸仏諸菩薩 勝法経道を聴
かんとなり 諸善萬行ことごとく
弥陀の浄土に帰せしむる 十方三世の
無量慧は 十方の有縁に聴かしめる こ
こに弥陀四十八願の億劫までもと念仏の
光明現世にはなたれり」
「宗の法燈この地にとどまりて
八百八町に聴えて 御同朋御同行の
参集を 仏祖照覧して存明せり」
と この義を持つて 存明寺とは号すなり

今年存明寺の名前の由来が書かれた文
章が発見されました。今まで不明だっ
たのですが、時を超えてご先祖の願い
に触れたような気がして、とてもうれ
しく思いました。

私なりに要約表現してみます…

阿弥陀さまの光明が

ずっと人びとを照らし続けている
存明寺がそんな場でありますように

特集…日帰り旅行会

存明寺の歴史をたずねて

この秋、「存明寺の歴史をたずねて」と題した日帰り旅行会が行われました。存明寺がここ烏山の地に来る前にあった場所を訪ねる旅でした。存明寺の歴史を、この紙面でご一緒にたずねてみたいと思います。

存明寺は今からおよそ380年前、時は江戸時代に入って40年たった頃、江戸の桜田郷に建立されました。初代の願龍法師は庄内藩（現在の山形県鶴岡市）酒井家の出身と伝えられています。そののち10年ほどで芝金杉（現在の港区芝）に移転し、その地でおよそ250年を過ごしました。その間8人の住職が寺を支えてきました。もちろんそれぞれの時代を生きた多くの人々がおられたことを想います。250年の間には火災にあい本堂などすべてを

焼失したという記録が残っています。

日帰り旅行会では、存明寺のご門徒と共にその地を訪問しました。その地では、当時からあった勸勝寺の黒田昭雄住職と向陽寺の池田亨住職からお話を伺いました。

お話の中では、スライドを使って江戸時代の古地図を見せていただき、存明寺の沿革をお聞きしました。芝の地には親鸞聖人が立ち寄られたこと、そしてこの地で浄土真宗の教えに出会えたことの慶びを語っていただきました。芝の地に生きられたご先祖たちの息遣いを想像し、浄土真宗の教えに生きた人々を想い、感慨深いものがありました。

ちなみに存明寺があった場所には、現在とても古い民家が建っています。その広さは約50坪、こ

の頃の存明寺はコンパクトだったようです。

さて存明寺は、250年滞在した芝金杉から、港区麻布（天現寺橋）に引っ越しをしました。今から125年ほど前のことです。ここでは広大な土地を入手し、本堂や山門、書院や鐘楼堂などが点在していました。当時の古地図もあります。この時の住職は存明寺第9世の釋諦順さんです。

釋諦順さんは、存明寺中興の祖と伝えられ、麻布の存明寺、そして烏山の存明寺の両方を建立した方です。また川向こうの貧しい人々と交流があり、差別のない付き合いをされた方で、この頃変多くの方々がお寺に集まっていたと伝えられています。ちなみに現住職のひいおじいちゃんにあたる方です。

その後大きな地震が関東を襲いました。大正12年の関東大震災です。倒壊は免れたものの、その後の都市計画によりお寺の敷地の多くを広大な道路に取られてしまったのです。



↑ 港区芝 存明寺の跡地に古民家が。



↑ 港区芝 勸勝寺にてお話を伺う。



↑ 港区芝 勸勝寺で正信偈のお勤め。

【存明寺略年表】

1647 江戸桜田郷に存明寺建立。江戸に
正保 4 入り 40 年余り。初代は願龍法師（山
形県鶴岡市・庄内藩主酒井の出身）

1657 10 年後、芝金杉に移転、以来 250 年
明暦 3 の長き時をこの地で過ごす。

1898 この頃、麻布天現寺橋（港区麻布）
明治 31 へ移転。広大な敷地に本堂や山門・
鐘楼堂などを建立。

1927 関東大震災の後の都市計画により現
昭和 2 在の地烏山に移転する。麻布の敷地の
多くは現在の広い道路となる。跡地
には存明寺説教所、現在の佑浩寺が
ある。

2027 烏山へ移転して百年となる。

こうして存明寺は昭和 2 年、現
在の千歳烏山へと引越すこと
となりました。4 力所目です。そ
して麻布の跡地には「存明寺麻布
布教所」ができ、現在は佑浩寺と
いう大谷派の寺院となっています。
なお佑浩寺では墓地にお参りを
しました。ここには初代から 9 代
目までの存明寺住職のお墓があり
ます。
ご先祖たちが伝えてくれた浄土
真宗を、しっかりと受け止めて、
いよいよ人々と共に生きる道を求
めていかねばという思いが湧いて
きます。



歴代住職	命日	年齢
① 願龍 がんりゅう		
② 誓哲 せいてつ	9 月 12 日	
③ 林翁 りんおう		
④ 林堂 りんどう	3 月 23 日	
⑤ 諦受 たいじゆ	7 月 3 日	
⑥ 林諦 りんたい	5 月 25 日	
⑦ 林明 りんみょう	5 月 24 日	
⑧ 諦龍 たいりゅう		1872, 7, 15
⑨ 諦順 たいじゆん		1928, 12, 14
⑩ 諦欽 たいしん		1942, 11, 4
⑪ 諦一 たいしち		1998, 12, 13
⑫ 諦信 たいしん (現住職・存命中)		68 45 67 55

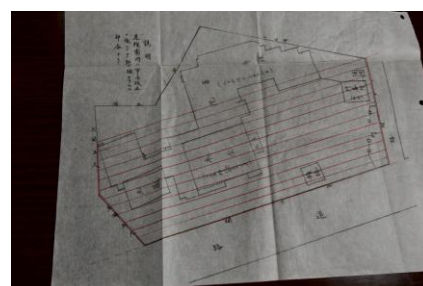
お寺の歴史を訪ねて 写真館



↑ 港区麻布 ここに存明寺があった証



↑ 港区麻布 存明寺歴代住職の墓



↑ 港区麻布時代の存明寺境内図



↑ 佑浩寺にて 参加者の集合写真



↑ 佑浩寺にて 懇親会乾杯の図



↑ 佑浩寺にて 懇親会司会のお二人

お寺のひろば 2025 (令和7) 年～2026 (令和8) 年



2025 (令和7) 年 お寺のひろば

11月15日 (土) 14時 樹心の会
 お話：清光やす子氏・酒井浩美氏・酒井住職
 内容：勤行・お話・語り合い・全体会
 11月18日 (火) 14時 真宗聖典輪読会
 内容：勤行・輪読・coffeeTime・語り合い
 12月2日 (火) 14時 真宗聖典輪読会
 12月13日 (土) 14時 樹心の会
 お話：吉山浩文氏・酒井大樹氏・酒井住職
 終了後に存明寺にて「望年会」を行います。
 12月20日 (土) 14時 グリーフケアのつどい
 大切な方を亡くされた人へ
 1月1日 (木) 10時 修正会
 年の始めは 自分の願いをかけるより
 自分にかけられた願いを知っていきましょう！
 存明寺のひろばにどうぞお出かけください。

2026 (令和8) 年 お寺のひろば

1月1日 (木) 10時 修正会
 勤行・年頭法話・乾杯・書初め・お汁粉
 3月6日 (金) 13時 おそうじの日
 3月14日 (土) 14時 樹心の会
 3月20日 (金) 11時と13時 春のお彼岸法要
 3月28日 (土) 14時 グリーフケアのつどい
 4月11日 (土) 14時 樹心の会
 4月24日 (金) 10時 おみがきのつどい
 5月3日 (日) 12時 永代経法要
 講師：近藤龍磨さん(岐阜県)
 5月30日 (土) 14時 樹心の会
 6月13日 (土) 14時 樹心の会
 6月20日 (土) 14時 グリーフケアのつどい
 7月4日 (土) 11時 新盆法要
 7月12日 (日) 11時と13時 おぼん法要
 9月12日 (土) 14時 樹心の会
 9月18日 (金) 13時 おそうじの日
 9月23日 (水) 11時と13時 秋のお彼岸法要
 9月26日 (土) 14時 グリーフケアのつどい
 10月10日 (土) 14時 樹心の会
 10月23日 (金) 10時 おみがきのつどい
 10月下旬の数日 (未定) 慶讃法要準備期間
 11月2日 (月) 14時 存明寺慶讃法要
 3日 (火) 12時 存明寺慶讃法要
 講師：一楽真さん・ヒナタカコさん
 11月14日 (土) 14時 樹心の会
 12月12日 (土) 14時 樹心の会
 12月19日 (土) 14時 グリーフケアのつどい
 ※真宗聖典輪読会・こども食堂・こども会・子育てサロンも定期的に活動中です。

【あがき】

▼今回は特集「存明寺の歴史を訪ねて」でした。現住職は12代目ですが、直接会ったことがあるご先祖は11代目の父親だけです。9代10代目の住職は写真が残っているのとお顔はわかりませんが、その人の声すらわかりません。ましてや初代から8代まではお顔すらわからないのです。

▼しかし「わからない」のであって、関係がないわけではありません。存明寺の歴史は、私が想像するよりも、もっと深くて広いものなのです。

▼ご先祖から相続されたもの、それはご本尊。寺院。浄土真宗の教え。いのち。いのちのつながり。人の集まり……。大事に相続していかなければ、そんなことを思う深まる秋です。

住職 蒔



東京都世田谷区北烏山4-15-1

真宗大谷派 存明寺(ぞんみょうじ)

住職 酒井義一(釋諦信)

TEL 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880

E-mail : sakai@zomyoji.jp